

「（仮称）岩手県教育振興計画」（中間案）の概要

計画期間

2019年度～2023年度までの5年間

【第1章】岩手の教育をめぐる状況

1 岩手の教育の歩み

- 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- 県立美術館、県立図書館の整備等
- 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

2 社会状況の変化

- 人口減少・少子化・高齢化の進行
- 急速な技術革新やグローバル化の進展
- 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- 地域間格差の拡大
- 東日本大震災津波からの復旧・復興

3 岩手県の教育の現状と課題

学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
 - 授業力の向上や家庭学習の定着
 - 高度情報社会に主体的に対応する力の育成
 - 運動習慣の定着
 - 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
 - いじめへの適切な対応
 - 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
 - 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
 - 大学入試制度改革への対応
 - 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
 - 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
 - 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
 - 教育振興運動や生涯学習による地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
 - 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
 - 文化芸術やスポーツの推進と地域への愛着の醸成

【第2章】目標・取組の視点

基本目標

学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり



目指す姿

学校教育

子どもたちが、地域とともにある学校において生き生きと学び、夢を持ち、それぞれの人間形成と自己実現に向けて知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けています。

社会教育・家庭教育

県民が主体的・相互的に連携することにより、家庭教育力の向上が図られるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加を通じて、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

【第3章】具体的な施策の内容

学校教育

- 岩手で、世界で活躍する人材の育成
 - 復興教育の推進、地域に貢献する教育の推進、キャリア教育の推進とライフプラン能力育成、世界と岩手をつなぐ人材育成、イノベーションを創出する人材育成 等
- 確かな学力の育成
 - これからの社会で活躍する資質能力の育成、児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実、生徒の進路実現の推進 等
- 豊かな心の育成
 - 自他の生命を大切に、他者の人権を尊重する心の育成、体験活動等を通じた豊かな心の育成、学校における文化芸術教育の推進、社会に参画する力の育成 等
- 健やかな体の育成
 - 豊かなスポーツライフに向けた学校教育の充実、適切な部活動体制の推進、健康教育の充実 等
- 特別支援教育の推進
 - 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実、特別支援教育の多様なニーズへの対応、県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進、教職員の専門性の向上 等
- いじめ問題・不登校対策等への確かな対応
 - いじめ防止対策の推進、いじめ事案への適切な対処、不登校対策の推進、健全育成に向けた対策、組織的な相談体制の充実 等
- 学びの基盤づくり
 - 安心して学べる環境づくり、目標達成型学校経営、新たな県立高等学校再編計画の推進、多様なニーズへの対応、教職員の確保・育成、教職員の働き方改革 等
- 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進
 - 特色ある教育活動の支援、社会に貢献する人材の育成、教育環境の整備促進 等

社会教育・家庭教育

- 学校と家庭・地域との協働の推進
 - 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり、多様な体験活動の充実、地域学校協働活動の推進 等
- 子育て支援や家庭教育支援の充実
 - 子育てや家庭教育に関する学習活動支援、電話やメール等による相談体制の充実、子育て支援グループのネットワークづくり 等
- 生涯にわたり学び続ける環境づくり
 - 多様な学習機会の充実、学びと活動の循環による地域の活性化、社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等
- 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承
 - 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承、文化財の適切な保存と継承 等